

秋経協・二水会 第87回例会【企業視察】

協和精工(株)・(株)花火創造企業

日時:平成30年9月12日(水) 参加者21名

秋経協・二水会の恒例行事「企業視察」が去る9月12日(水)秋経協会員も含め21名が参加して実施された。今年度は、切削工具と腕時計の製造という全く異なる事業を展開し、注目されている湯沢市羽後町に本社工場、湯沢市皆瀬に皆瀬工場を有する協和精工(株)と大仙市花火産業構想に基づき花火製造・打ち上げ技術を基盤とし平成27年4月に設立された(株)花火創造企業を訪問した。

◎協和精工(株)



湯沢市羽後町本社工場



切削工具製造見学

◎協和精工(株)は1963年東京で創業
1973年に湯沢工場、1983年に羽後工場を新設し、数々の切削工具を開発し、1988年には高級腕時計側・腕時計の製造販売を開始した。2002年日本初となる0.1mmのcBN材エンドミルを開発、2003年には電界砥粒制御を施した小径エンドミルの開発に成功し数々の賞を受賞し、今年創業55年を迎えた。

協和精工(株)では、佐藤代表幹事からの挨拶の後、同社渡辺常務から、先代社長が創業してから羽後町に本社工場を移設し現在に至るまでの経緯、本社工場での精密刃削工具製造ならびに皆瀬工場での自社ブランドを含む時計製造についてスライドを交えて説明がなされた。時計については、自社製品を本場であるスイス市場に出品し、その評価を得て日本に逆輸入するといった手法も紹介された。当面の課題は、やはり人員の確保ということであったが、今後のさらなる「秋田発」の製品の飛躍を期待したい。

◎(株)花火創造企業



大仙市大友の(株)花火創造の全景

◎2015年4月に大仙市・大曲商工会議所・大仙市商工会の三者で策定した「大仙市花火産業構想」に基づく花火製造・打ち上げ技術を基盤とした花火製造拠点として設立。2017年4月新工場が完成し、本格的に花火玉を生産する体制が整い、国内はもとより海外花火業者への事業展開中。



天日で乾燥させる作業等製造工程を見学

(株)花火創造企業では、高橋代表幹事からの挨拶の後、小松社長から町おこしを目的とした

平成27年設立の経緯、現在行われている事業内容、今後の展開について説明があり、工場内の見学を行った。今年はスタートの年ではあるものの、業主柄、安全性に最大限の配慮をしつつ日本では唯一の自動玉貼機を開発するなど今後の花火玉製造を軌道に乗せるべく努力している姿が窺えた。

およそ8時間の旅であったが、参加者一同大いに見聞を広めることができた企業視察と

なった。